

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年5月8日更新

事務事業名		市道認定等事務					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合 計画 体系	政策	5	都市基盤の健康			所属部	都市建設部	課長名	岩男 竜彦
	施策	24	計画的な道路の整備			所属課	建設課	担当者名	合志 新一
	施策の柱	67	道路環境の整備			所属班	維持管理班	(内線)	5253
予算科目	会計一般	款8	項1	目1	事業連番10066	根拠法令	道路法第8条・9条・10条		成果優先度評価結果② コスト削減優先度評価結果⑪
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度18年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~ 年度)					

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	住民からの市道認定の要望を受けた道路や開発により市に帰属された道路について、市道認定し、区域決定後供用開始する。現地調査を行い、市道認定要件に該当する路線について、議会の承認を得るための手続きを行い、承認後に認定、区域決定、供用開始の告示を経て通行の開始を行う。市道廃止についても同様の手続きを行う。
【業務の流れ】	現地調査を行い、市道認定要件に該当する路線について、議会の承認を得るための手続きを行い、承認後に認定、区域決定、供用開始の告示を経て通行の開始を行う。市道廃止についても同様の手続きを行う。
【主な予算費目】	
【意見や要望】	合併により市道認定基準に関する規則を定めており、条件を満たすことが必須になっているため用地の寄付について納得できない住民がいる。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標 ①手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動)(DO) → 道路法に基づき、議会の議決から公示を経て、認定を行った。路線の変更(幅員のみ)の場合には、公示のみを経て、変更を行った。	新規・拡充区分 30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) → 道路改良や開発道路の帰属に伴う認定・路線の区域変更
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ア)議案上程件数 イ)公示件数	(単位)件 件
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 道路(里道、私道、開発道路)	②対象指標(対象の大きさを表す指標) ア)新規認定路線数 イ)変更路線数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 認定することで整備計画の立案及び維持管理を行い道路の保全を図る。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) ア)認定実施率 イ)変更実施率
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠	総トータルコスト 全体計画 ~年度 0

(2)各指標・総事業費の推移			単位	27年度実績(決算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	31年度予定	32年度見込	33年度見込
① 活動指標	ア)件	件	2	1	2	2	2	2	2	2	2
② 対象指標	ア)路線	路線	8	21	10	4	10	10	10	10	10
③ 成果指標	ア)%	%	100	100	100	100	100	100	100	100	100
投 入 費 量	事 業 費 内 訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 繰入金 一般財源	千円 千円 千円 千円 千円 千円								
		(A)事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外・特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
人 件 費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	延べ業務時間	時間	505	410	410	470	410	410	410	410	0
	(B)人件費計	千円	1,875	0	1,633	1,859	1,633	1,633	1,633	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,875	0	1,633	1,859	1,633	1,633	1,633	0	0

事務事業名	市道認定等事務	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	---------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因 ↗】
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由 ↗】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策 ↗】 開発道路等の認定を行う。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由 ↗】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由 ↗】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由 ↗】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由 ↗】 道路法により市町村が行うこととなっている。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗】 市町村が行うこととなっているため。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由 ↗】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由 ↗】 出来ない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由 ↗】 公衆用道路として公共的に使用するものであり問題は無い。
	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由 ↗】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由 ↗】 道路法により市町村が行うこととなっている。

3 評価結果の総括 (CHECK)

5. 町田相木・松田 (CITY C RX)

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

- ### (1) 今後の事業の方向性（改革改善案） ・・・ 複数選択可

廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善（有効性改善）
事業のやり方改善（効率性改善） 事業のやり方改善（公平性改善）
現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

		コスト		
		削減	維持	増加
成 果	向上			
	維持			\
	低下	/	/	/

- (3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策